

製本のススメ

Vol. 188

緊急事態宣言が東京も解除になりました。善かれ悪しかれ経済はみんな繋がっていて、自分はコロナウイルス騒動には無関係と言う人はいないでしょう。一時は経済大国といわれた日本ですが、ぐっと小さくなってしまいました。さて、これからどうやって延びていくのが課題ですね。

今回から**製本工程から見た造本企画の注意点**シリーズです①

造本企画の最初は紙選びですね。最近はボリュームを出したい（中身が薄いからでしょうか）という希望が増えています。本文内容を増やせば良いだけですよね？と言いたいのですが、そこには大人の事情があるようでページ数が少なくても手ごたえのある冊子にしたいのでしょう。しかしながら、ボリュームアップにも加工方法によっては限度があります。板紙のような本文用紙では折機械に適合せず折れませんし、ペラではバラ本になってしまいます。当然ながら折機械に入らなければ中綴じ加工は難しく、**製本方法が限られます**。

基本的に無線綴じ・中綴じなど**書籍として使用するには紙1枚0.08~0.15までの間の紙厚用紙を選んでください**（斤量ではありません）

また**紙目も重要**です。用紙によってはT目のみY目のみと言う物もありますので、用紙の無駄が大きく発生する場合がありますが、**やむなしと諦めて下さい**。98%以上の割合でキチンとした冊子にはなりません。特に**無線綴じは不具合が出やすく、上製本に至っては加工する会社は皆無です**。

あえて逆目使いをする場合には、そのリスクを十分に理解したうえでの使用を検討してください。また用紙メーカーによっても若干不具合が発生する場合があります、代替品等の計画案も忘れず入れてください。

何度かこのススメでも書いていますが、極めて湿気に弱い種類の用紙もあり（ミラコート系）これらは、見返し付きの冊子には向いていませんので、ご注意ください。



Tea break

大相撲、今場所も面白いですね。皆さんは土俵の上にある仕切り線 何で書いてあるのかご存じですか？これはエナメルで書かれています。エナメルが土俵にしっかりと接着されて、簡単には剥がれないそうです。また表面が丈夫で足で擦っても大丈夫。ちなみに仕切り線の間隔は 70 センチ！押し相撲の力士は後方で、四つ相撲の力士は前方で仕切ります。立ち合いの駆け引きも仕切り線が在るとわかりやすいですね。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本